

第V章 地域別構想

V-1 地域別構想の構成

1. 地域別構想の位置づけと構成

地域別構想は、前章までに策定した笠間市の全体構想と分野別整備方針を踏まえ、計画内容をより地域に即したものとするため、市民にとって身近な単位である地域として「各中学校区」を基本に、将来の望ましい地域像を示すものです。

地域別構想では、現況データや意向調査等から地域の概要の整理を行い、概況、課題、役割、地域の将来像、地域づくりの方針を策定します。

地域別構想は以下のように構成します。

表一 地域別構想の構成

項目	内容	
地域の概要 (地域カルテ)	基本事項の整理	地域別構想の策定にあたって地域の基本的な事項についてまとめます。
	生活環境に対する評価	意向調査から、笠間市の現状に対する評価と身近な生活環境に対する評価を整理し、地域環境の整理を行います。
地域別構想	概況	地域の概況を整理します。
	地域づくりの課題	地域の概要等から、地域別構想の策定に向けた課題を整理します。
	本地域の役割	笠間市の中において地域に期待される役割(位置づけ)を示します。
	地域の将来像	地域の役割や地域の資源等を考慮しながら、地域が目指すべき将来像と地域づくりの目標を示します。
	地域づくりの方針	地域の将来像を実現するため、全体構想の分野別方針を受けて必要な施策を示します。

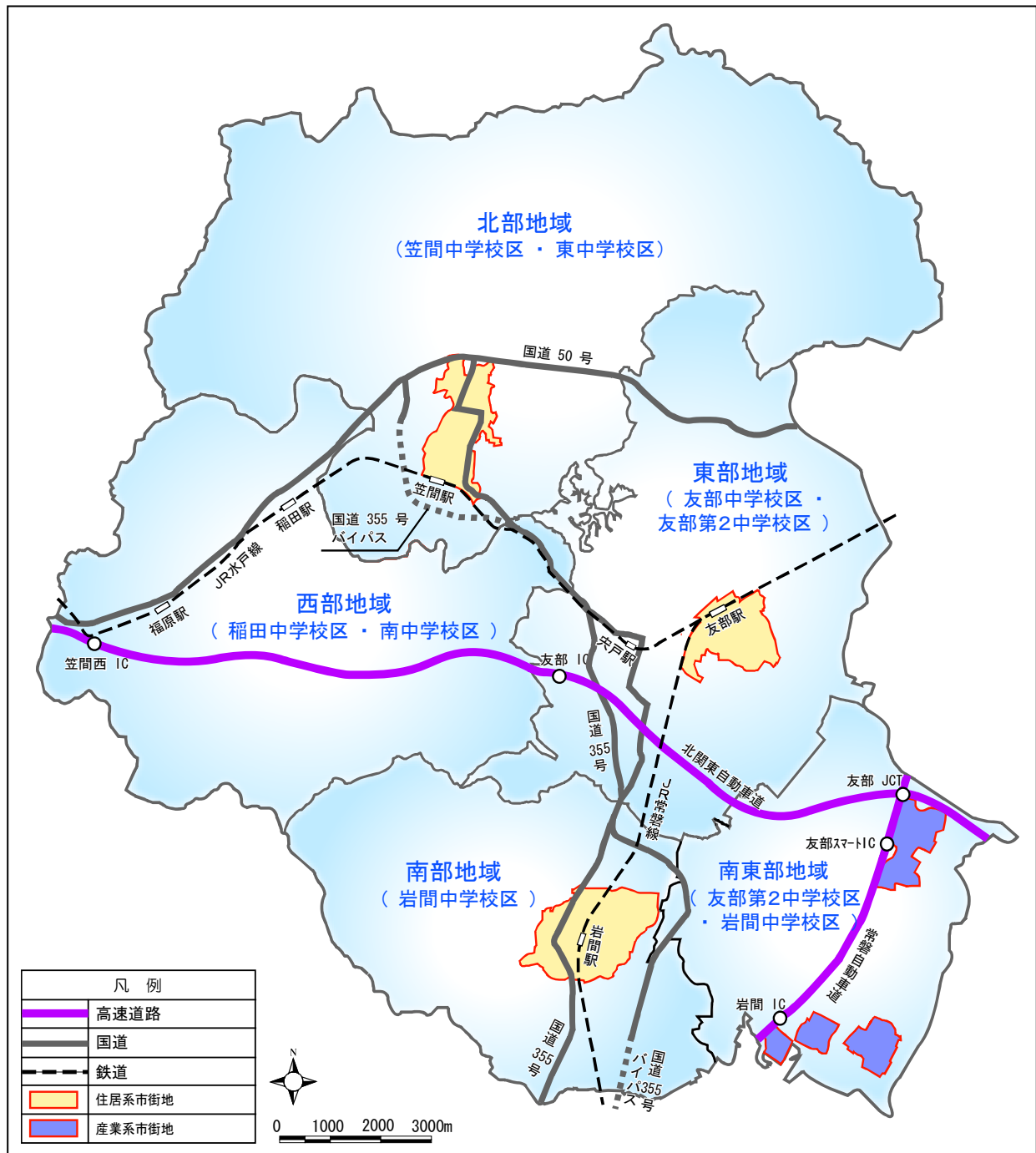
2. 地域区分の考え方

地域別構想の策定単位は、地域コミュニティの単位となっている中学校区を基本に、市の全体像や地域の課題等を考慮しながら設定します。

表一 地域区分

地域名	中学校区	地域の概要
北部地域	笠間中学校区 東中学校区	市域北部の酒沼川に沿って形成される平坦地と北部一帯の山地丘陵を含む地域です。JR 笠間駅北部には市街地が形成される他、地域北部には集落が分布します。
西部地域	稲田中学校区 南中学校区	市域西部の国道 50 号沿道に形成される市街地と集落を含む地域です。地域南部や西部は山地丘陵となっており、地域西部には笠間西 IC が設置されています。
東部地域	友部中学校区 友部第二中学校区の一部	市域東部の JR 友部駅を中心に市街地が形成されている地域です。地域北部には北山公園を中心に豊かな自然環境を有しています。
南部地域	岩間中学校区の一部 (岩間第一、第三小学校区)	市域南部の JR 岩間駅を中心に市街地が形成されている地域です。地域西部は、愛宕山を中心に豊かな自然環境を有しています。
南東部地域	友部第二中学校区の一部 (北川根小学校区) 岩間中学校の一部 (岩間第二小学校区)	市域南東部に位置し、岩間 IC や友部 JCT 周辺に産業系市街地が分布する地域です。また、自然豊かで平坦な地形であり、農地も広がっています。

図一 地域区分図



V-2 地域の概要(地域カルテ)

1. 各地域の基本事項の整理

項目		地域名	北部地域	西部地域
面積 (ha)			8,186	4,989
対象地域	中学校区		笠間中学校区 東中学校区	稲田中学校区 南中学校区
	小学校区		笠間小学校区 佐城小学校区 箱田小学校区 東小学校区	南小学校区 稲田小学校区
	字		池野辺、大橋、福田、飯田、大淵、 金井、石寺、日沢、寺崎、日草場、 笠間、赤坂、下市毛、来栖、箱田、 石井、大郷戸、片庭、箱田大郷戸 箱田大郷戸片庭	稲田、福原、本戸、北吉原、南吉 原、上加賀田、飯合、手越、来栖
平成 17 年人口 (人)			21,188	8,492
平成 17 年世帯数 (世帯)			6,982	2,591
世帯人員 (人/世帯)			3.0	3.3
都市計画	地域地区		用途地域(215ha) 準防火地域 赤坂の一部(4.9ha)	—
	施設		都市計画道路 14 路線 都市公園 14 箇所 火葬場 1 箇所	都市計画道路 3 路線 都市公園 4 箇所
	その他		地区計画 2 地区	
主要プロジェクト			<input type="checkbox"/> 笠間芸術の森 <input type="checkbox"/> 国道 355 号 B P <input type="checkbox"/> 笠間駅南地区	<input type="checkbox"/> 笠間 P A 周辺地区 <input type="checkbox"/> 笠間西 IC 周辺地区
主な地域資源			<input type="checkbox"/> 笠間稲荷神社 <input type="checkbox"/> 笠間芸術の森公園 <input type="checkbox"/> 佐白山麓公園 <input type="checkbox"/> つつじ公園 <input type="checkbox"/> 笠間市総合公園 <input type="checkbox"/> JR 笠間駅 <input type="checkbox"/> 笠間市役所笠間支所 <input type="checkbox"/> 笠間市立笠間図書館 <input type="checkbox"/> 笠間市立笠間公民館 <input type="checkbox"/> エコフロンティア笠間 <input type="checkbox"/> 飯田ダム(笠間湖) <input type="checkbox"/> 笠間東工業団地	<input type="checkbox"/> 笠間南工業団地 <input type="checkbox"/> 笠間クラインガルテン <input type="checkbox"/> 石材団地 <input type="checkbox"/> 笠間西工業団地 <input type="checkbox"/> プロヴァンス笠間 (福原地区) <input type="checkbox"/> JR 稲田駅 <input type="checkbox"/> JR 福原駅 <input type="checkbox"/> 笠間西 IC

東部地域	南部地域	南東部地域
4,604	3,392	2,856
友部中学校区 友部第二中学校区の一部	岩間中学校区の一部	友部第二中学校区の一部 岩間中学校の一部
友部小学校区 友部第2小学校区 穴戸小学校区 大原小学校区	岩間第1小学校区 岩間第3小学校区	北川根小学校区 岩間第2小学校区
上市原、小原、中市原、下市原、南友部、鴻巣、五平、平町、下加賀田、橋爪、南小泉、矢野下、鯉淵、大古山、旭町、大田町、友部駅前、東平1～4丁目、八雲1・2丁目、中央1～4丁目、美原1～4丁目	上郷、下郷、泉、吉岡、市野谷、福島、泉市野谷入会地	旭町、随分附、柏井、仁古田、長兎路、長兎路仁古田入会地、湯崎、住吉、安居、押辺、土師
30,145	12,727	8,945
10,387	4,184	2,816
2.9	3.0	3.2
用途地域(184ha)	用途地域(310ha)	用途地域(240ha)
都市計画道路 14路線 都市公園 3箇所	都市計画道路 6路線	都市計画道路 6路線 ごみ処理場 1箇所
地区計画 1地区		
<input type="checkbox"/> 友部駅周辺整備 <input type="checkbox"/> 環状道路 (宿大沢線、上町大沢線)	<input type="checkbox"/> 岩間駅周辺整備 <input type="checkbox"/> 国道355号BP	<input type="checkbox"/> 茨城中央工業団地 (笠間地区) <input type="checkbox"/> 一般県道上吉影岩間線
<input type="checkbox"/> 笠間市役所 <input type="checkbox"/> 笠間市立友部図書館 <input type="checkbox"/> 笠間市立友部公民館 <input type="checkbox"/> 県立中央病院 <input type="checkbox"/> 県立友部病院 <input type="checkbox"/> 畜産試験場跡地 <input type="checkbox"/> JR友部駅 <input type="checkbox"/> JR穴戸駅 <input type="checkbox"/> 友部IC <input type="checkbox"/> 北山公園 <input type="checkbox"/> 航空局通信所	<input type="checkbox"/> JR岩間駅 <input type="checkbox"/> 市民センターいわま (笠間市役所岩間支所、笠間市立岩間図書館、笠間市立岩間公民館) <input type="checkbox"/> 愛宕山スカイロッジ <input type="checkbox"/> 愛宕神社 <input type="checkbox"/> 合気神社 <input type="checkbox"/> 岩間海洋センター	<input type="checkbox"/> 岩間IC <input type="checkbox"/> 友部スマートIC <input type="checkbox"/> 岩間工業団地 <input type="checkbox"/> 茨城中央工業団地 (笠間地区)

2. 生活環境に対する評価

平成 19 年 9 月に実施した「まちづくりに関する意向調査」から、「笠間市の現状に関する評価」と「身近な生活環境に関する評価」を地域別にまとめました。

	北部地域			西部地域		
	項目	評価	参考:全体	項目	評価	参考:全体
笠間市の現状に対する評価(4段階)	居住の場としては	3.0	2.9	居住の場としては	2.9	2.9
	働く場としては	2.1	2.1	働く場としては	2.2	2.1
	買い物をする場としては	2.6	2.5	買い物をする場としては	2.6	2.5
	幹線道路の整備状況は	2.4	2.5	幹線道路の整備状況は	2.5	2.5
	市内の生活道路の整備状況は	2.5	2.5	市内の生活道路の整備状況は	2.5	2.5
	公共施設の整備状況は	2.4	2.4	公共施設の整備状況は	2.5	2.4
	子供を育てる環境としては	2.5	2.5	子供を育てる環境としては	2.6	2.5
	高齢者が暮らす環境としては	2.3	2.4	高齢者が暮らす環境としては	2.5	2.4
	10年前と比較しては	3.0	2.9	10年前と比較しては	3.0	2.9
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 居住の場、買い物をする場としての評価が高くなっています。 ・ 一方で、働く場、高齢者が暮らす環境等の項目で低い評価となっています。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 居住の場としての評価が高く、それ以外の項目では、市全体と同じかやや高い評価となっています。 ・ 働く場としての評価は低いものの、市全体よりは高い評価となっています。 	
身近な生活環境に関する評価(4段階)	項目	評価	参考:全体	項目	評価	参考:全体
	自宅周辺の生活環境	2.7	2.6	自宅周辺の生活環境	2.4	2.6
	自宅周辺の道路の状況	2.4	2.3	自宅周辺の道路の状況	2.2	2.3
	生活排水の処理	2.4	2.5	生活排水の処理	2.1	2.5
	道路側溝の整備	2.2	2.3	道路側溝の整備	2.1	2.3
	公園の整備	2.4	2.0	公園の整備	2.2	2.0
	街並みや景観の良さ	2.4	2.4	街並みや景観の良さ	2.8	2.4
	鉄道の利便性	2.0	2.5	鉄道の利便性	2.4	2.5
	バスの利便性	1.8	1.9	バスの利便性	2.0	1.9
	商業施設の利便性	2.4	2.3	商業施設の利便性	2.3	2.3
	医療施設の充実度	1.8	2.2	医療施設の充実度	1.9	2.2
	運動施設の充実度	2.2	2.0	運動施設の充実度	2.1	2.0
	子育てや介護施設の充実度	2.1	2.1	子育てや介護施設の充実度	2.0	2.1
	文化・サークル活動の場の充実度	2.2	2.3	文化・サークル活動の場の充実度	2.3	2.3
	道路での歩行者の安全性	2.1	1.9	道路での歩行者の安全性	2.0	1.9
	子供が遊ぶ場の安全性	1.9	1.8	子供が遊ぶ場の安全性	2.0	1.8
	通学路の安全性	1.9	1.9	通学路の安全性	1.9	1.9
	災害時等の安全性	2.0	2.1	災害時等の安全性	2.2	2.1
	10年間と比較して	2.9	2.9	10年間と比較して	2.8	2.9
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅周辺の生活環境の評価が高くなっています。一方、バスの利便性、医療施設の充実度、子供が遊ぶ場の安全性、通学路の安全性等の項目で低い評価となっています。 ・ 市全体と比較すると、バスの利便性、医療施設の充実度の項目で低い評価となっています。 ・ 10年前との比較では 2.9 と高い評価となっています。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 街並みや景観の良さの評価が高くなっています。一方、医療施設の充実度、通学路の安全性については低い評価となっています。 ・ 市全体と比較すると、自宅周辺の生活環境や道路環境、生活排水の処理、道路側溝の整備などの基盤施設に関する項目と、医療施設の充実について低くなっています。 	

	東部地域			南部地域		
	項目	評価	参考:全体	項目	評価	参考:全体
笠間市の現状に対する評価(4段階)	居住の場としては	3.0	2.9	居住の場としては	2.8	2.9
	働く場としては	2.2	2.1	働く場としては	2.0	2.1
	買い物をする場としては	2.6	2.5	買い物をする場としては	2.3	2.5
	幹線道路の整備状況は	2.5	2.5	幹線道路の整備状況は	2.6	2.5
	市内の生活道路の整備状況は	2.6	2.5	市内の生活道路の整備状況は	2.5	2.5
	公共施設の整備状況は	2.5	2.4	公共施設の整備状況は	2.2	2.4
	子供を育てる環境としては	2.6	2.5	子供を育てる環境としては	2.4	2.5
	高齢者が暮らす環境としては	2.4	2.4	高齢者が暮らす環境としては	2.4	2.4
	10年前と比較しては	3.0	2.9	10年前と比較しては	2.9	2.9
		・ 高齢者が暮らす環境以外の項目で市全体より高い評価となっており、市の現状に対する満足度が高いといえます。			・ 幹線道路の整備状況について評価が高くなっていますが、働く場所、公共施設の整備状況等についての評価が低くなっています。	
身近な生活環境に関する評価(4段階)	項目	評価	参考:全体	項目	評価	参考:全体
	自宅周辺の生活環境	2.6	2.6	自宅周辺の生活環境	2.6	2.6
	自宅周辺の道路の状況	2.2	2.3	自宅周辺の道路の状況	2.2	2.3
	生活排水の処理	2.7	2.5	生活排水の処理	2.5	2.5
	道路側溝の整備	2.5	2.3	道路側溝の整備	2.3	2.3
	公園の整備	2.0	2.0	公園の整備	1.6	2.0
	街並みや景観の良さ	2.4	2.4	街並みや景観の良さ	2.2	2.4
	鉄道の利便性	2.8	2.5	鉄道の利便性	2.7	2.5
	バスの利便性	1.9	1.9	バスの利便性	1.8	1.9
	商業施設の利便性	2.3	2.3	商業施設の利便性	2.0	2.3
	医療施設の充実度	2.6	2.2	医療施設の充実度	1.9	2.2
	運動施設の充実度	2.0	2.0	運動施設の充実度	1.7	2.0
	子育てや介護施設の充実度	2.3	2.1	子育てや介護施設の充実度	2.0	2.1
	文化・サークル活動の場の充実度	2.4	2.3	文化・サークル活動の場の充実度	2.1	2.3
	道路での歩行者の安全性	1.8	1.9	道路での歩行者の安全性	1.7	1.9
	子供が遊ぶ場の安全性	1.7	1.8	子供が遊ぶ場の安全性	1.7	1.8
	通学路の安全性	1.9	1.9	通学路の安全性	1.9	1.9
	災害時等の安全性	2.2	2.1	災害時等の安全性	2.2	2.1
	10年間と比較して	2.9	2.9	10年間と比較して	2.8	2.9
	・ 鉄道の利便性、生活排水の処理、自宅周辺の生活環境、医療施設の充実度で評価が高くなっています。			・ 鉄道の利便性、自宅周辺の生活環境、生活排水の処理等について評価が高くなっています。		
	・ 一方で、道路での歩行者の安全性、子供が遊ぶ場の安全性、通学路の安全性等では評価が低く、子供が遊ぶ場の安全性は市全体の評価よりも低くなっています。			・ 一方で、公園の整備、バスの利便性、運動施設の充実度、道路での歩行者の安全性、子供が遊ぶ場の安全性、通学路の安全性等で評価が低く、特に公園の整備について低い評価となっています。		

南東部地域		
項目	評価	参考:全体
居住の場としては	2.8	2.9
働く場としては	2.1	2.1
買い物をする場としては	2.2	2.5
幹線道路の整備状況は	2.4	2.5
市内の生活道路の整備状況は	2.4	2.5
公共施設の整備状況は	2.1	2.4
子供を育てる環境としては	2.4	2.5
高齢者が暮らす環境としては	2.2	2.4
10年前と比較しては	2.8	2.9
<p>・ 全体的に市全体よりも評価が低く、公共施設の整備状況や高齢者が暮らす環境についての評価が低くなっています。</p>		
項目	評価	参考:全体
自宅周辺の生活環境	2.7	2.6
自宅周辺の道路の状況	2.3	2.3
生活排水の処理	2.6	2.5
道路側溝の整備	2.3	2.3
公園の整備	1.8	2.0
街並みや景観の良さ	2.2	2.4
鉄道の利便性	2.2	2.5
バスの利便性	1.7	1.9
商業施設の利便性	2.2	2.3
医療施設の充実度	2.1	2.2
運動施設の充実度	2.2	2.0
子育てや介護施設の充実度	2.1	2.1
文化・サークル活動の場の充実度	2.2	2.3
道路での歩行者の安全性	1.9	1.9
子供が遊ぶ場の安全性	1.8	1.8
通学路の安全性	1.8	1.9
災害時等の安全性	2.1	2.1
10年間と比較して	2.9	2.9
<p>・ 自宅周辺の生活環境、生活排水の処理について高い評価となっていますが、公園の整備、バスの利便性、道路での歩行者の安全性、子供が遊ぶ場の安全性、通学路の安全性等について評価が低くなっています。</p>		

笠間市の現状に対する評価(4段階)

身近な生活環境に関する評価(4段階)

V-3 地域別構想

V-3-1 北部地域

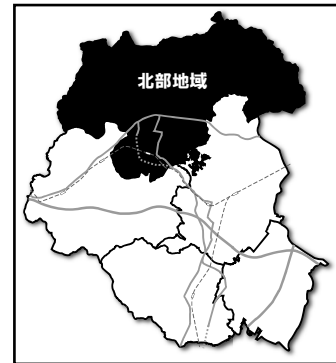
1. 概況

本地域は、笠間市街地の他、市域北部の丘陵部を含む地域で、笠間稲荷神社や佐白山、笠間芸術の森公園、飯田ダム(笠間湖)等の地域資源を有し、多くの来訪者がみられる笠間市の交流拠点です。

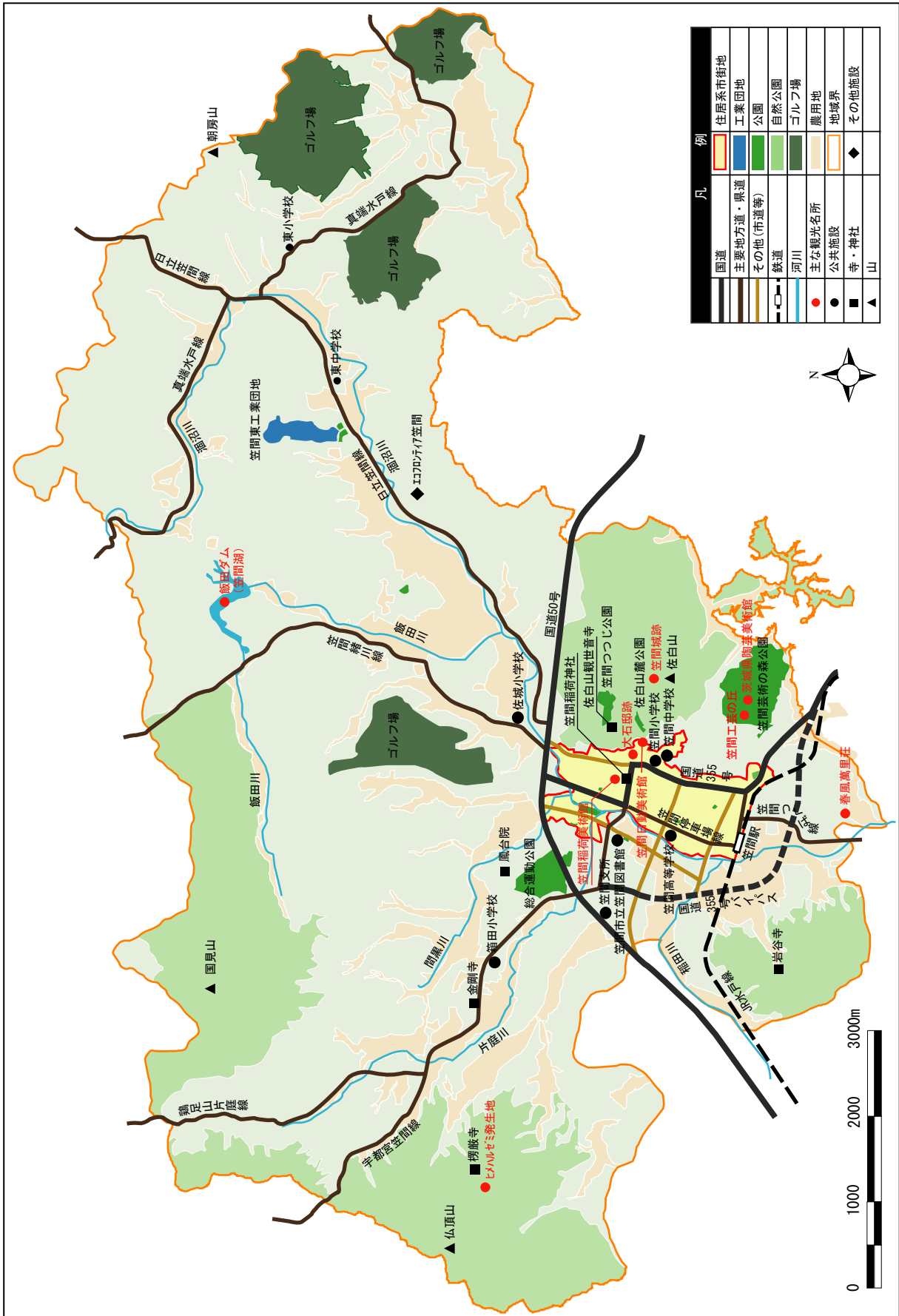
JR 笠間駅の北側には用途地域が指定され、公益施設や商業施設、住宅等が集積する生活空間となっている他、本市を代表する地場産業の笠間焼の窯元が多く分布しており、来訪者が散策する姿もみられます。

地域中央部を国道 50 号が東西に横断しており、近年では沿道や用途地域周辺において、郊外型の商業施設の集積が進んでいます。

また、地域北部の丘陵部には、主)宇都宮笠間線、主)笠間緒川線、主)日立笠間線等が放射状に伸びており、それらに沿って集落が形成されている他、ゴルフ場が分布しています。



図一 地域現況図



2. 地域づくりの課題

- 笠間市街地では生活拠点としての機能充実が望まれます。
- 市街地居住者の減少や高齢化等への対応が必要です。
- 歴史・文化資源を活用した交流機能の充実が望まれます。
- 笠間駅を拠点とした公共交通の充実が望まれます。
- 国道 355 号バイパスの整備に対応した基盤整備が必要です。
- 交流空間として街並みの演出や回遊する楽しさ等の演出が望まれます。
- 笠間稲荷神社・佐白山、市街地、笠間芸術の森公園等の連携強化が望まれます。
- 笠間東工業団地の操業環境の維持が必要です。
- 山間部の集落では、公共交通等の利便性確保が必要です。
- 用途地域周辺での商業施設の立地等への注視が必要です。
- 白地地域における適切な土地利用の誘導が必要です。
- 集落居住環境の維持・保全が必要です。

3. 本地域の役割

北部地域は、市民の生活の場であるとともに、佐白山や笠間芸術の森公園周辺を中心に多様な地域資源や交流機能が分布することから、これらの活用を図りながら、多くの市民や来訪者が行き交う交流空間として期待されます。

また、笠間市街地周辺の集落と農地が多く分布する地域においては、地域の環境と共生した生活空間として期待されます。

表一全体構想での主な位置づけ

笠間市街地	居住環境の充実、観光交流の核
笠間駅周辺地区	交流拠点としての公共交通利便性向上
笠間駅南地区	新市街地形成の検討
笠間稲荷神社・佐白山周辺地区	観光交流の促進、緑地空間の保全
笠間芸術の森公園周辺地区	交流機能の集積
笠間東工業団地	生産環境の維持・保全
飯田ダム(笠間湖)周辺地区	自然体験型の観光・レクリエーション空間

4. 地域の将来像

地域の歴史・文化が薫る笠間の交流・生活空間

将来の北部地域は、門前町として形成された市街地が有する歴史・文化資源、佐白山等の豊かな自然等が一体となった魅力ある空間づくりを目指します。

笠間市街地では、歴史や文化を感じる空間形成を目指し道路や沿道建築物が美しい街並みの演出を図るとともに、佐白山や笠間芸術の森公園等とのネットワークの形成を進め、多くの人々が笠間の歴史や文化に親しみながら散策する姿がみられる環境づくりを進めます。

一方、国道50号沿道や用途地域周辺では、周囲を山々に囲まれた特徴ある空間づくりに向け秩序ある土地利用を誘導するとともに、集落地域では、営農環境と集落環境が保全され、豊かな自然の中で都市的利便性を享受できる生活空間の形成を目指します。

地域づくりの目標

- 歴史・文化資源を生かした交流空間を創出します
- 質の高い生活空間を創出します
- 地域の環境と共生した生活空間を創出します
- 誇りと愛着の持てる美しい地域空間を創出します

5. 地域づくりの方針

(1) 歴史・文化資源を生かした交流空間の創出に向けて

①笠間稲荷神社・佐白山周辺の魅力向上を図ります。

- 笠間稲荷神社・佐白山周辺では、地域資源の集積を生かした交流空間としての環境整備を図るため、回遊・散策環境の整備を進めます。
- 笠間稲荷神社周辺の市街地では、笠間稲荷神社の門前町としての雰囲気演出するため、道路空間の整備や沿道建築物等についてのデザインコントロールを検討します。なお、道路空間については、「道の市」等の道路空間を利用したイベントの状況を考慮した整備を進めます。

②中心市街地の賑わいづくりを進めます。

- 中心市街地活性化基本計画の区域では、商業機能等の活性化に向け、関連施策との調整を図りながら必要な都市施策を進めます。

③楽しく散策できる環境づくりを進めます。

- 笠間稲荷神社・佐白山、笠間芸術の森公園を中心とする区域では、これまでの事業との整合をとりながら、笠間稲荷神社・佐白山、笠間芸術の森公園等を連携する回遊環境の充実を進めます。

○笠間市街地では、利用者の利便性向上を図るため、ポケットパークや誘導サイン等の休憩・案内機能の充実に努めます。

④自然環境の保全・活用に努めます。

○笠間県立自然公園区域を含む山地・丘陵部では、豊かな自然環境が残されていることから、自然環境の保全・活用に努めます。

○飯田ダム(笠間湖)周辺においては交流機能の充実に検討します。

(2)質の高い生活空間の創出に向けて

①用途地域内の都市基盤の充実に進めます。

○用途地域内においては、良好な都市空間の形成を目指し、道路や公園等の整備を進めます。

○用途地域内の幹線道路については、歩行者等の安全性と利便性を確保するため、歩行者・自転車空間の確保とバリアフリー化を進めます。

②用途地域内への都市機能の集積促進と新しい受け皿づくりを検討します。

○用途地域内の都市的未利用地や低密度利用地については、都市的土地利用を促進するため、地区の将来像や必要な整備内容について検討します。

○人口減少や高齢化等の抑制を目指し市街地居住を促進します。

○笠間駅南地区については、面的整備の可能性も含め地区整備の方向性について検討します。

③道路網の充実に進めます。

○国道 355 号バイパスは、国道 50 号～石岡市方面の交通流動の確保及び、笠間市街地の通過交通の流入抑制を図る動線として整備を促進します。

○未整備の都市計画道路については、整備を促進するとともに必要性等について検討します。

○密度が高い住宅地等では、防災性や安全性の向上を図るため、狭隘道路の解消を促進します。

(3)地域の環境と共生した生活空間の創出に向けて

○国道 50 号以北に分布する集落では、人口や高齢化等の状況を注視しながら、集落機能(地域コミュニティ、生活習慣、農業生産等)の維持のため、公共交通等の必要な施策を検討します。

○大規模開発等については、既存の集落環境との調和について配慮した適切な誘導を進めます。

(4)誇りと愛着の持てる美しい地域空間の創出に向けて

①秩序ある土地利用の誘導に努めます。

○用途地域周辺や国道 50 号沿道では、土地利用動向を注視しながら、適切な沿道利用の実現に向け土地利用や建築物についての規制・誘導方策の導入を検討します。

○集落部や周辺の優良な農地については、生活空間及び営農空間として位置

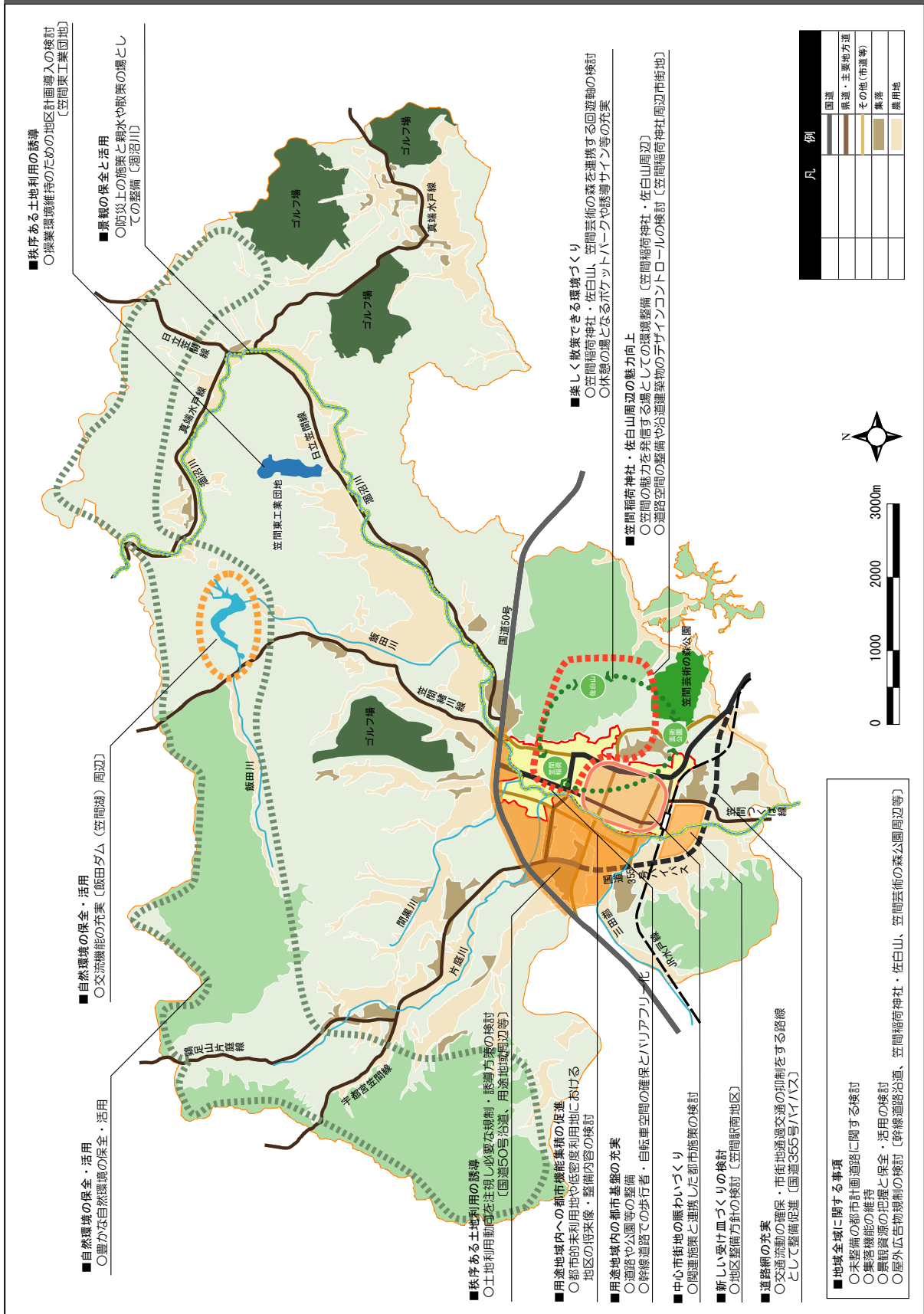
づけ、農業施策との整合を図りながら保全を図ります。

- 笠間東工業団地については、操業環境の維持を図るため、地区計画の導入を検討します。

②景観の保全と活用を検討します。

- 美しい地域空間を創出するため、地域の景観資源の把握を進めるとともに、その保全・活用について検討します。
- 幹線道路沿道や笠間稲荷神社・佐白山、笠間芸術の森公園周辺等では、良好な沿道景観や眺望景観等を確保するため、屋外広告物に関する規制を検討します。
- 潤沼川については、豊かな自然が残る空間として防災上の施策とともに、親水や散策の場としての活用を検討します。

北部地域の将来像



凡 例

国道
県道・主要地方道
その他(市道等)
集落
農用地



V-3-2 西部地域

1. 概況

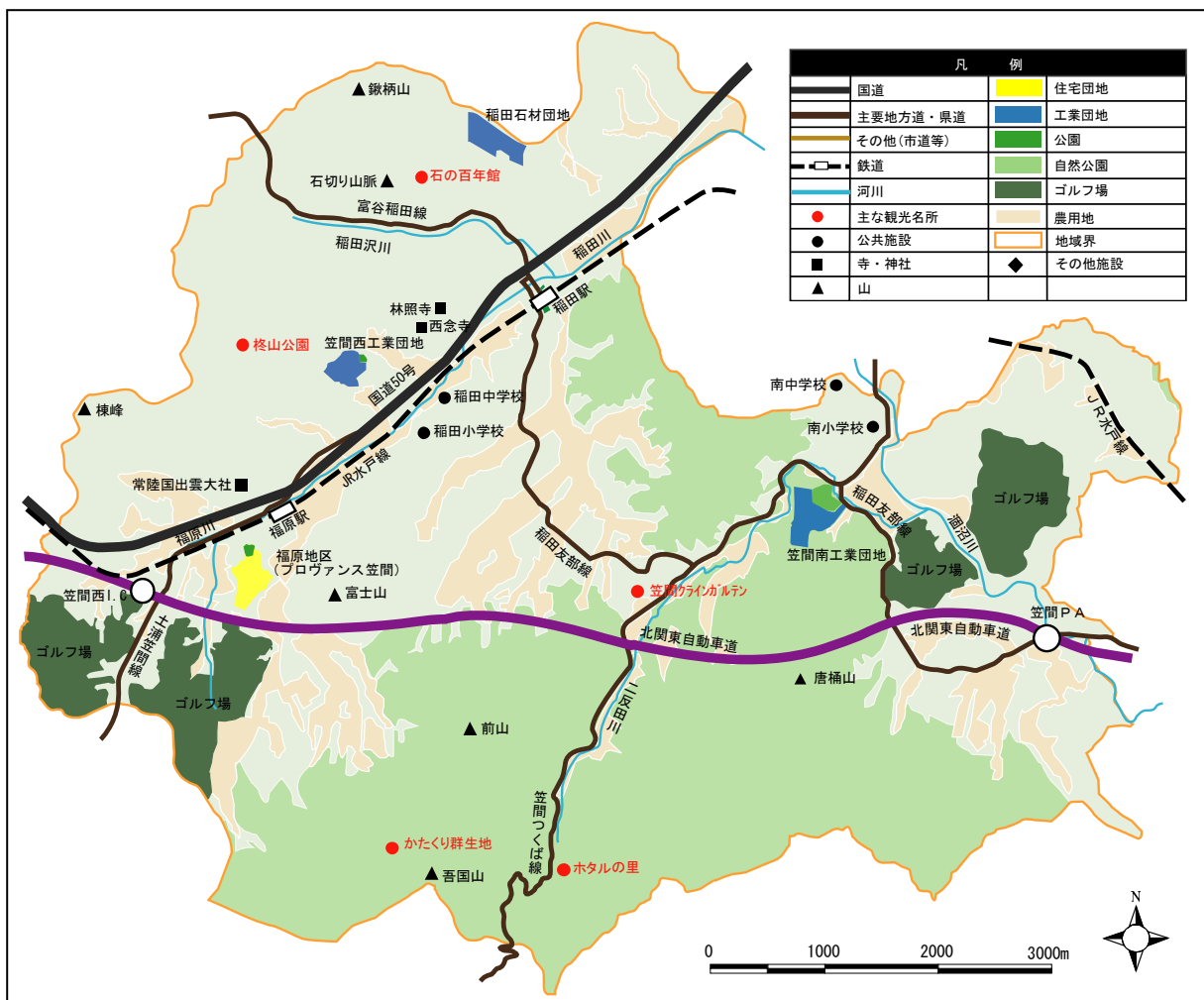
本地域は、市域西部に位置し、国道50号とJR水戸線が横断しJR稲田駅前やJR福原駅前には市街地が形成されています。

稲田駅周辺は石材産業の中心となっており、石材団地が整備されている他、石材加工事業所が多く分布しています。一方、福原駅周辺には茨城県住宅供給公社により整備されたプロヴァンス笠間があり、県営住宅や市営住宅を中心として住宅地の形成が進んでいます。

また、地域西部には北関東自動車道の笠間西ICが設置され、笠間市の西の玄関口としての機能も有する他、上加賀田地区には笠間PAも整備されています。一方、地域南部の一带は吾国愛宕県立自然公園区域を含む山地丘陵部と、涸沼川沿岸の低地に集落や農地が分布する田園地帯となっており、近年は、笠間クラインガルテンが整備されたことにより、都市と農村の交流機能の高まりがみられます。



図一 地域現況図



2. 地域づくりの課題

- 稲田駅、福原駅を拠点とした公共交通の充実が望めます。
- 市街地・集落居住環境の維持・保全が必要です。
- 笠間西工業団地、稲田石材団地、笠間南工業団地の操業環境の維持が必要です。
- 地域の歴史・文化資源の保全・継承が望めます。
- 白地地域における適切な土地利用の誘導が必要です。
- 山間部の集落では、公共交通等の利便性確保が必要です。
- 笠間クラインガルデンを生かした交流機能充実が望めます。
- 笠間PA整備に伴う交流機能の検討が望めます。

3. 本地域の役割

西部地域は、用途地域は指定されていませんが、日本有数の石材産業を有する地域であり、JR水戸線稲田駅前や福原駅前には、一定の都市機能や産業機能の集積がみられています。

本地域では、北関東自動車道笠間西ICが設置され、笠間市の西の玄関口としての役割が期待されます。また、これまでの産業等の集積を生かした新たな土地利用や機能集積を促進するとともに、笠間クラインガルデンや笠間PA周辺の活用を図り、地場産業と都市、農村の交流等の活力ある地域づくりを進めることが期待されます。

表一 全体構想での主な位置づけ

福原地区(プロヴァンス笠間)	宅地化の促進と居住環境の維持
稲田地区	居住環境の整備や維持・保全
笠間西工業団地	生産環境の維持・保全
笠間南工業団地	
稲田石材団地	
笠間PA周辺地区	新たな交流拠点づくりの検討
笠間西IC周辺地区	開発動向を注視しながら必要な規制・基盤整備の検討

4. 地域の将来像

歴史・産業と自然を生かした趣ある営み・文化空間

将来の西部地域では、既存の市街地や集落を基本に生活空間を形成し、生活支援機能の充実を図ります。

また、活力ある地域づくりを進めるため、笠間西 IC 設置に伴う交通条件の向上を背景に、知名度の高い稲田石の産地として伝統的な石材産業と新しい産業の共存を図るとともに、笠間クラインガルテン等の交流施設を生かし、都市と農村との交流や多様なライフスタイルを実現する人々がみられる地域づくりを目指します。

地域づくりの目標

- 地域の歴史・文化と調和した生活空間を創出します
- 誇りと愛着の持てる美しい地域空間を創出します
- 地域資源を生かした交流機能の充実を図ります

5. 地域づくりの方針

(1) 地域の歴史・文化と調和した生活空間の創出に向けて

① これまで集積した都市機能の維持を図ります。

- JR 稲田駅、JR 福原駅周辺では、駅を中心として一定の都市機能集積がみられることから、地域生活の利便性確保を図るため既存の都市機能の維持と必要な機能の集積を促進します。
- JR 稲田駅、JR 福原駅については、鉄道やバス等の利用を促進するため、公共交通の結節点としての機能充実について検討します。

② 地域と調和した都市機能の導入を進めます。

- 福原地区(プロヴァンス笠間)では、居住機能を中心とする新たな拠点形成に向け周辺地域との調和に配慮しながら都市機能の集積を促進します。
- 大規模開発等については、集落や農地等の既存環境との調和について配慮します。

③ 集落機能の維持に努めます。

- 集落部では、人口や高齢化等の状況を注視しながら、集落機能(地域コミュニティ、生活習慣、農業生産等)の維持のため、公共交通等の必要な施策を検討します。

(2) 誇りと愛着の持てる美しい地域空間の創出に向けて

① 秩序ある土地利用の誘導に努めます。

- 笠間西 IC 周辺においては、高速道路整備効果の効率的な波及を目指し、秩序ある土地利用実現に向けて特定用途制限地域や地区計画等の導入を検討します。
- 集落部や周辺の優良な農地については、営農空間及び生活空間として位置づけ、農業施策との整合を図りながら保全を図ります。
- 笠間西工業団地、笠間南工業団地及び稲田石材団地については、操業環境の維持を図るため、地区計画の導入を検討します。
- 笠間 P A 周辺地区では、P A 設置に伴った交流機能の導入について検討します。

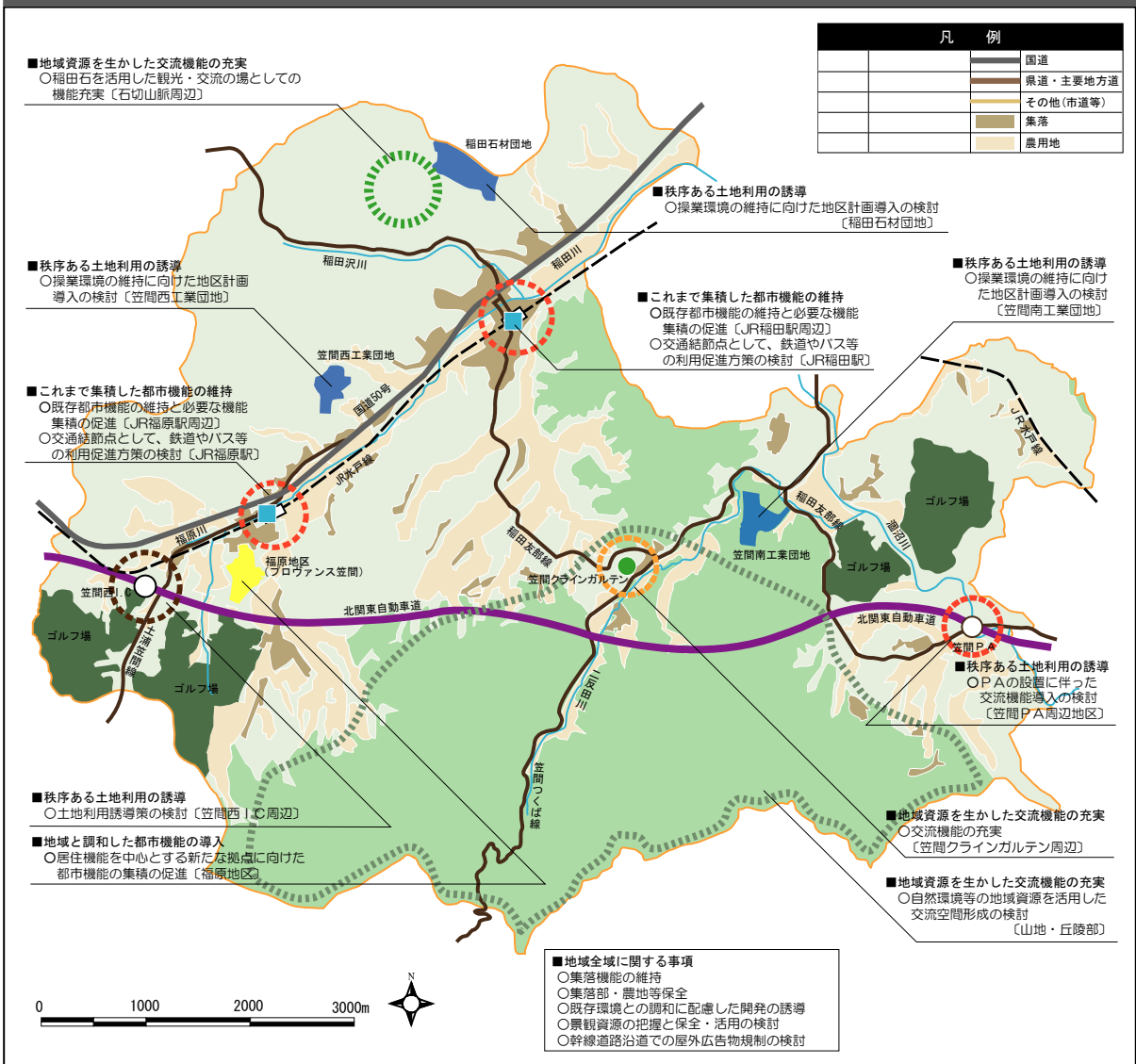
② 景観の保全と活用を検討します。

- 美しい地域空間を創出するため、地域の景観資源の把握を進めるとともに、その保全・活用について検討します。
- 幹線道路沿道では、良好な沿道景観や眺望景観等を確保するため、屋外広告物に関する規制を検討します。

(3) 地域資源を生かした交流機能の充実にに向けて

- 石切山脈周辺では、地域資源である稲田石を活用した活力づくりを進めるため、観光・交流の場としての機能充実に努めます。
- 県立自然公園区域を含む山地・丘陵部では、都市と農村の交流拠点となっている笠間クラインガルテンヲ核とした交流機能の充実や自然環境の保全活用を図ります。

西部地域の将来像



V-3-3 東部地域

1. 概況

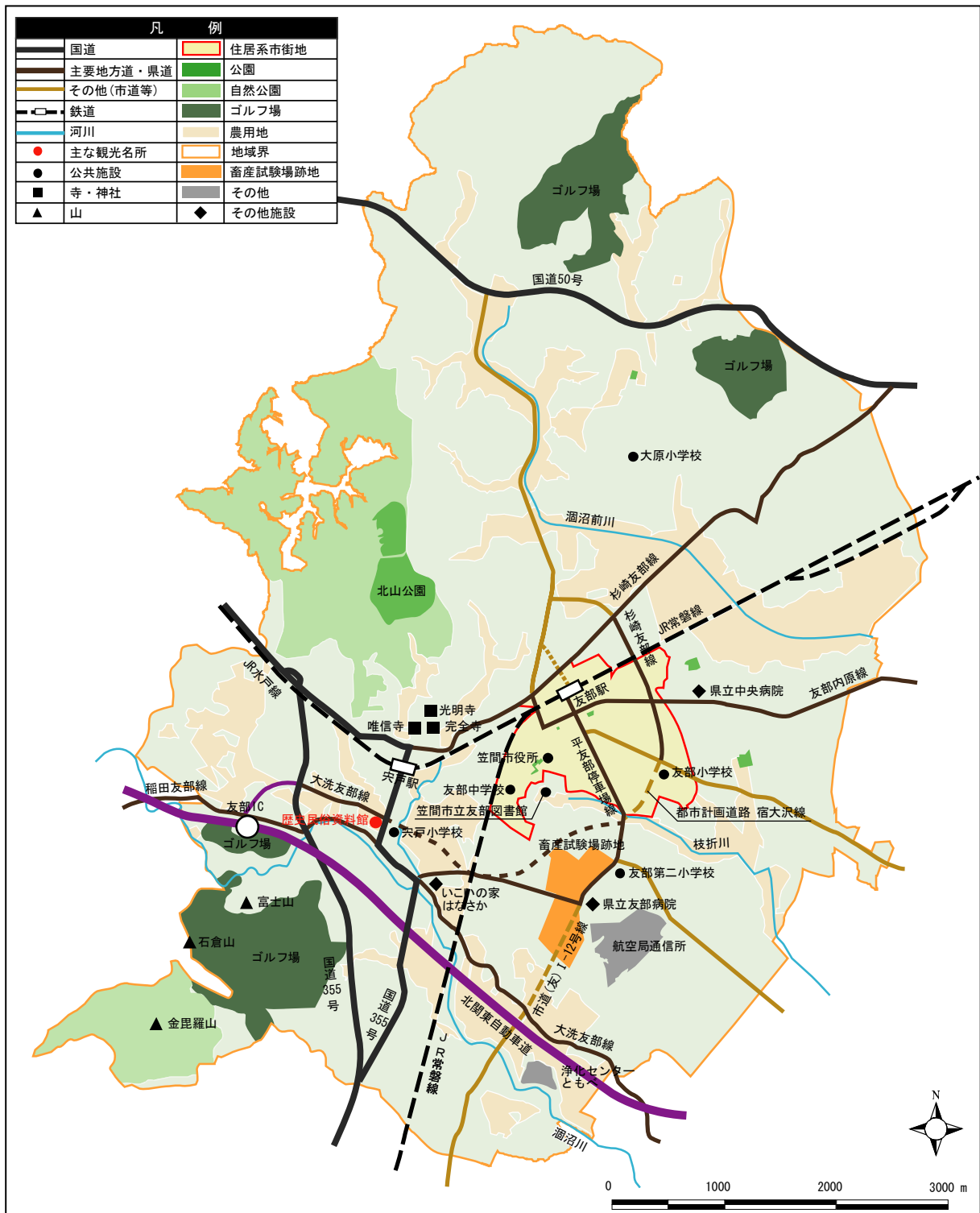
本地域は、市域東部に位置し、JR 友部駅南部を中心に市街地が形成されています。JR 友部駅には JR 常磐線と JR 水戸線が乗り入れる他、県立中央病院や県立友部病院も位置し生活利便性だけでなく質の高い医療・福祉機能を有する地域です。近年、用途地域南東部の旭町や鯉淵地区等を中心に、民間事業者による宅地開発が進んでいます。

一方、地域北部には豊かな自然環境を持つ北山公園が整備されている他、宍戸地区には寺社の集積や昔ながらの街道沿いの風情が残る等、自然や歴史資源も有していますが、友部 IC の設置へ通ずる都市計画道路上町大沢線や都市計画道路宿大沢線の沿道では、沿道型店舗の立地等の新たな土地利用もみられます。

また、友部市街地南部には航空局通信所や畜産試験場跡地が位置する等、本市の土地利用において重要となる大規模な土地利用がみられる地域でもあります。



図一 地域現況図



2. 地域づくりの課題

- 友部駅周辺では、市の中心となる市街地として都市機能の充実が必要です。
- 友部駅を中心とする市街地では、歩いて暮らせる環境の充実が必要です。
- 友部市街地や茨城中央工業団地(笠間地区)に関連する都市計画道路の整備推進が必要です。
- 友部駅周辺の拠点機能の強化が望まれます。
- 白地地域における適切な土地利用の誘導が必要です。
- 宅地化が顕著な旭町・鯉淵地区では土地利用や建物のルールが必要です。
- 畜産試験場跡地の利用方策の検討が必要です。
- 市街地周辺の集落では、公共交通等の生活利便性の確保が必要です。
- 宍戸地区では歴史・文化資源の活用が望まれます。
- 北山公園と市街地とのネットワーク強化が望まれます。

3. 本地域の役割

東部地域は、笠間市の中でも商業、交通、公共サービス、医療・福祉等の機能が最も多く集積する地域です。また、鉄道の利便性を背景として住宅地も広がっており、このような集積を生かした都市機能の高度化と居住環境の充実が期待されます。

表－全体構想での主な位置づけ

友部市街地	高い利便性と福祉環境に配慮した市街地環境の整備
友部駅周辺地区	市の玄関口となる交流拠点としての活用
旭町・鯉淵地区	良好な居住環境創出に向けた土地利用規制の検討
南友部地区	地区計画による市街地形成の促進
宍戸地区	居住環境の整備や維持・保全
畜産試験場跡地地区	跡地利用の具体化
宍戸・北山周辺地区	友部市街地に近接する歴史・文化空間としての環境保全
友部 IC 周辺地区	開発動向を注視しながら必要な規制・基盤整備の検討

4. 地域の将来像

賑わいとやさしさが迎える笠間の拠点空間

将来の東部地域は、JR 友部駅周辺の市街地とその周辺の住宅ゾーンが連携し暮らしやすさを実感できる地域としての機能充実を図ります。

そのため、駅周辺市街地においては、都市機能や医療・福祉機能の高度化を図るとともに、誰もが利用しやすい環境を備え、多くの人々が行き交う環境づくりを進めます。

一方、市街地周辺においては、居住環境の整備に努め、健康で安心して暮らせる環境づくりを進めます。

さらに、用途地域周辺には、歴史ある穴戸の街や、集落と農地の田園空間が広がることから、機能的な街に彩りとやすらぎを与える空間としての保全を図ります。

この将来像を実現するため、次のような地域づくりの目標を定めます。

地域づくりの目標

- 質の高い生活空間を創出します
- 都市の拠点として都市機能の充実と中心性の向上を図ります
- 誇りと愛着の持てる美しい地域空間を創出します

5. 地域づくりの方針

(1) 質の高い生活空間の創出に向けて

①用途地域内の都市基盤の充実を進めます。

○用途地域内においては、良好な都市空間の形成を目指し、道路や公園等の都市基盤整備を進めます。

○用途地域内の幹線道路については、歩行者等の安全性と利便性を確保するため、歩行者・自転車空間の確保とバリアフリー化を進めます。

②用途地域内への都市機能の集積促進と新しい受け皿づくりを検討します。

○用途地域内の都市的未利用地や低密度利用地については、都市的土地利用の促進を図るため、地区の将来像や必要な整備内容について検討します。

○都市計画道路宿大沢線沿道では、適正な沿道利用を誘導するため、道路整備に合わせて用途地域の変更を進めます。

③宅地化が想定される白地地域での土地利用・建物の誘導を検討します。

○宅地化動向が顕著な旭町・鯉淵地区では、白地地域における健全な宅地化を誘導するため、用途地域や地区計画等の土地利用、建物用途の誘導を図

る都市計画制度の活用を検討します。

○宍戸地区では、歴史・文化資源が多く残る街並みとの調和のとれた環境の創出を図るため、土地利用や建築物についての誘導施策の導入を検討します。

○環状道路を構成する都市計画道路宿大沢線、都市計画道路上町大沢線沿道については、沿道土地利用の動向を注視しながら、土地利用や建築物についての誘導方策の導入を検討します。

④集落機能の維持に努めます。

○集落部では、人口や高齢化等の状況を注視しながら、集落機能(地域コミュニティ、生活習慣、農業生産等)の維持のため、公共交通等の必要な施策を検討します。

(2) 都市の拠点として都市機能の充実と中心性の向上に向けて

①JR 友部駅周辺の整備を進めます。

○JR 友部駅南部では、商業・業務、福祉機能等が集積する拠点としての機能向上を図るため、関係者を交え将来像と必要な施策等の検討を進めます。

○友部駅北部の南友部地区では、地区計画に基づく市街地形成を促進します。

②市街地形成を支える道路ネットワークの構築を検討します。

○友部市街地では、都市交通マスタープランの位置づけをもとに、将来的な市街地拡大も念頭におきながら道路ネットワークの再構築を検討します。

○未整備の都市計画道路については、整備を促進するとともに必要性等について検討します。

○市道(友) I - 12 号線については、岩間方面との連携軸として未整備区間の整備を推進します。

③畜産試験場跡地利用の具体化を目指します。

○畜産試験場跡地は、市街地に近接する大規模用地であるという特性を生かし、跡地利用の具体化について、関係機関協議を進めるとともに、市民意識の醸成を図ります。

○跡地利用にあたっては、地区計画等の必要な都市計画の位置づけを行います。

(3) 誇りと愛着の持てる美しい地域空間の創出に向けて

①秩序ある土地利用の誘導に努めます。

○集落部や周辺の優良な農地については、生活空間及び営農空間として位置づけ、農業施策との整合を図りながら保全を図ります。

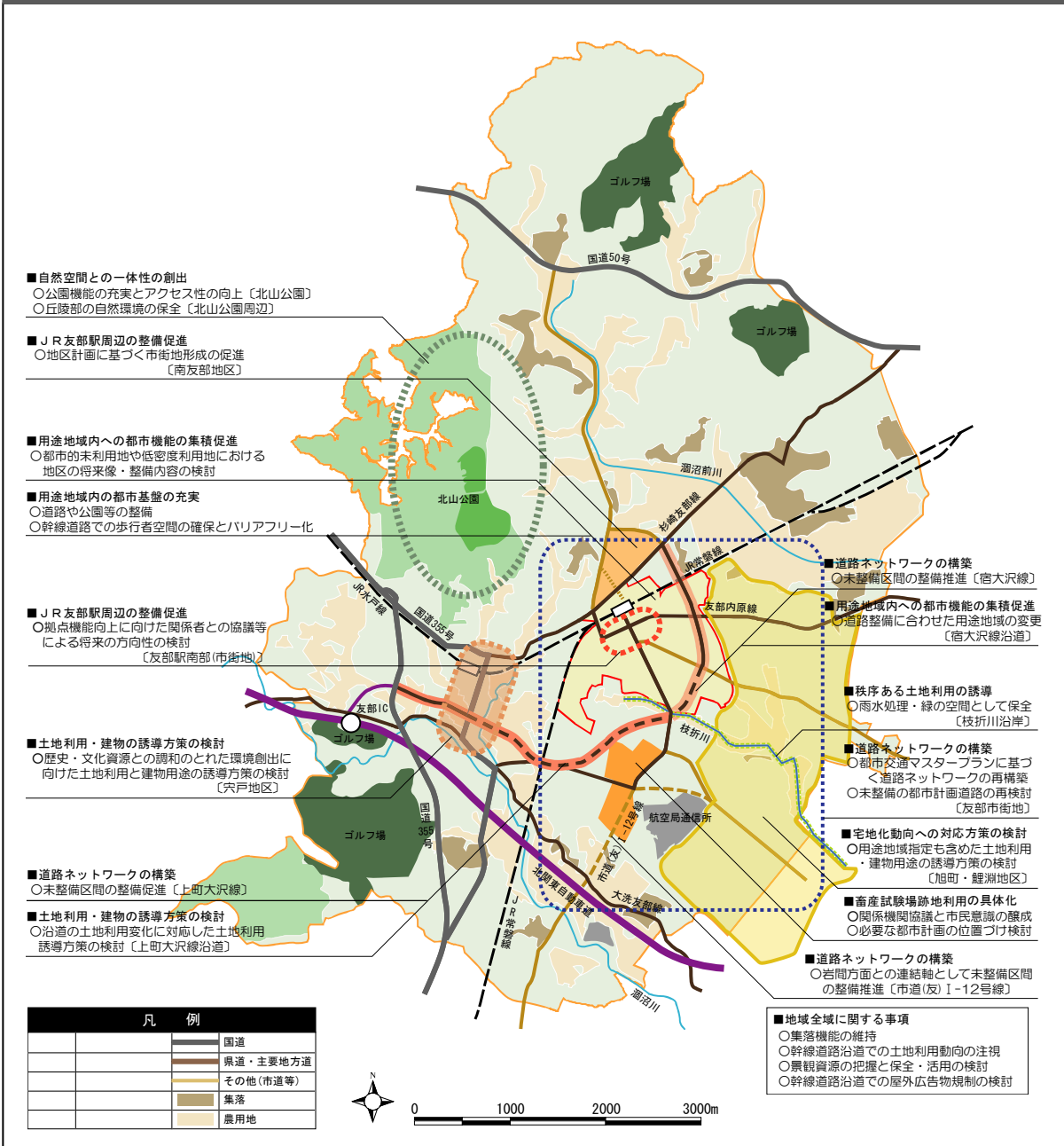
○枝折川沿岸については、雨水処理や都市空間に潤いを与える緑の空間として位置づけ、農業施策との調整を行いながら保全を図ります。

②景観の保全と活用を検討します。

○美しい地域空間を創出するため、地域の景観資源の把握を進めるとともに、その保全・活用について検討します。

- 幹線道路沿道では、良好な沿道景観や眺望景観等を確保するため、屋外広告物に関する規制を検討します。
- ③自然空間との一体性を創出します。
 - 北山公園については、身近な自然空間として公園機能の充実とアクセス性の向上等を進めます。
 - 北山公園周辺の丘陵部では、自然環境の保全に努めます。

東部地域の将来像



V-3-4 南部地域

1. 概況

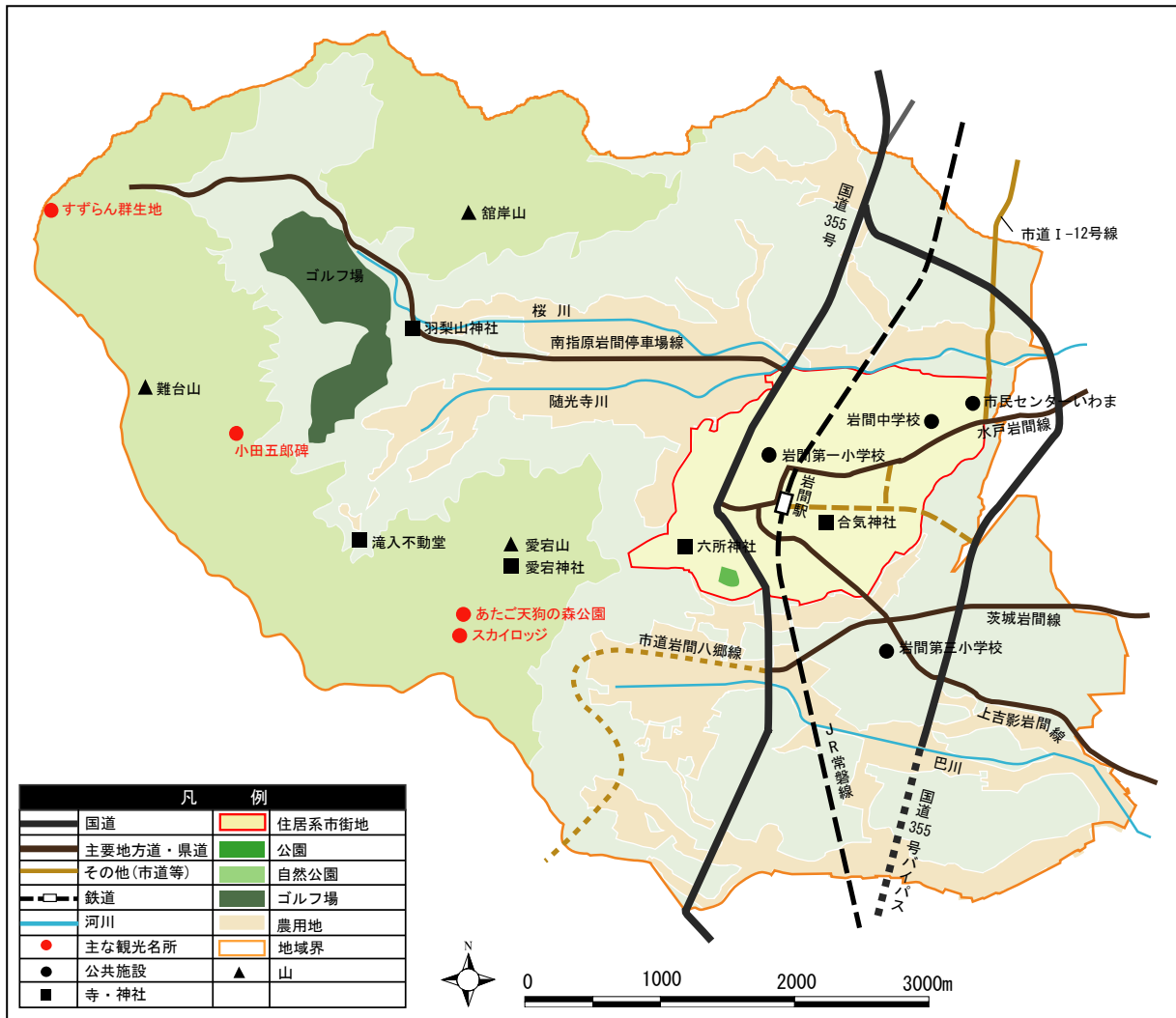
本地域は、市域南部に位置し JR 岩間駅を中心に市街地が形成されています。

一方、地域西部は山地丘陵地帯となっており、吾国愛宕県立自然公園に指定され、愛宕山にはスカイロジやハイキングコース等が整備されています。

岩間市街地東部に国道 355 号バイパスが整備中であり、沿道での商業施設等の集積がみられています。



図一 地域現況図



2. 地域づくりの課題

- 岩間駅の拠点機能強化に向けた基盤整備の推進が必要です。
- 市街地では生活拠点として、生活利便及び福祉面での環境充実が望まれます。
- JR常磐線東部の用途地域では都市的土地利用の促進が望まれます。
- 都市計画道路の整備を進める必要があります。
- 白地地域における適切な土地利用の誘導が必要です。
- 市街地周辺の集落では、公共交通等の生活利便性の確保が必要です。
- 愛宕山等の地域資源を活用した交流機能の充実が必要です。

3. 本地域の役割

南部地域は、鉄道の利便性も高く、市街地では一定の都市機能の集積もあることから、生活空間として魅力ある地域です。また、近接する愛宕山は、吾国山、難台山へとつながるハイキングコースとして知られており、市外からの来訪者も多くみられます。このような特性を生かし、居住環境と交流機能の充実が期待されます。

表一全体構想での主な位置づけ

岩間市街地	高い利便性と福祉環境に配慮した市街地環境の整備
岩間駅周辺地区	市の玄関口となる交流拠点としての活用
愛宕山・上郷周辺地区	自然、歴史・文化資源の活用と環境保全

4. 地域の将来像

自然を身近に感じる営みがある居住・交流空間

南部地域では、地域の生活利便機能が集積する駅西市街地と基盤整備が進められている駅東市街地が一体となり、地域資源である愛宕山の有する豊かな自然を、日々の暮らしの中で感じることができる居住空間と交流のある地域づくりを目指します。

また、地域西部の上郷地区では、山地・丘陵と集落・農地が調和したゆとりある自然空間の保全を図ります。一方、用途地域周辺では平地林や農地が創り出す田園環境の保全に努めます。この将来像を実現するため、次のような地域づくりの目標を定めます。

地域づくりの目標

- 自然を身近に感じるゆとりある生活空間を創出します
- 地域資源を生かした交流機能を充実します
- 誇りと愛着の持てる美しい地域空間を創出します

5. 地域づくりの方針

(1) 自然を身近に感じるゆとりある生活空間の創出に向けて

①用途地域内の都市基盤の充実を進めます。

- 用途地域内においては、良好な都市空間の形成を目指し、道路や公園、公共下水道等の整備を進めます。
- 用途地域内の幹線道路については、歩行者等の安全性と利便性を確保するため、歩行者・自転車空間の確保とバリアフリー化を進めます。

②用途地域内への都市機能の集積を促進します。

- 岩間駅東土地区画整理事業については、駅東地区の拠点形成を目指し事業推進を図ります。
- 用途地域内の都市的未利用地や低密度利用地については、都市的土地利用促進するため、地区の将来像や必要な整備内容について検討します。
- 駅東地区では、土地区画整理事業や道路整備(都市計画道路岩間駅東大通り線、都市計画道路日吉町古市線)の整備に合わせ、駅周辺や道路沿道における適切な土地利用の誘導を目指し、整備の進捗に合わせて用途地域変更を進めます。

③集落機能の維持に努めます。

- 集落部では、人口や高齢化等の状況を注視しながら、集落機能(地域コミュニティ、生活習慣、農業生産等)の維持のため、公共交通など必要な施策を検討します。

(2) 地域資源を生かした交流機能を充実します

①JR 岩間駅周辺の交流機能の強化を図ります。

- JR 岩間駅西市街地では、商業・業務機能の充実、交通結節機能の強化等について検討します。
- JR 岩間駅や岩間市街地では、愛宕山への回遊の基点として案内機能等必要な機能の充実を検討します。

②市街地形成を支える道路ネットワークを構築します。

- 都市計画道路岩間駅東大通り線については、地域幹線道路である国道 355 号バイパスとの連携を強化するため整備を推進します。
- 国道 355 号バイパスは、国道 50 号～石岡市方面の交通流動の確保する路線として整備を促進します。
- 都市計画道路日吉町古市線については、駅東地区の骨格道路として整備を推進します。
- 市道岩間八郷線については、石岡市(八郷)方面との連携を確保する路線として早期整備を目指します。
- 駅西市街地に関連する都市計画道路については、整備方針の明確化を図るため関係機関協議や必要性の検討を行います。

- 未整備の都市計画道路については、整備を促進するとともに必要性等について検討します。

(3) 誇りと愛着の持てる美しい地域空間の創出に向けて

① 秩序ある土地利用の誘導に努めます。

- 国道 355 号バイパス沿道では、土地利用の混在を防ぐため、土地利用動向を注視しながら土地利用や建築物についての誘導方策の導入を検討します。
- 用途地域に隣接する白地地域では、用途地域内の土地利用を促進するため、土地利用や建築物についての誘導方策の導入を検討します。
- 集落部や周辺の優良な農地については、生活空間及び営農空間として位置づけ、農業施策との整合を図りながら保全を図ります。
- 駒場、大古沢、花園等の上郷地区の集落では、良好な集落・田園景観の保全・形成を図るため、地域資源に対する啓発等の施策を検討します。

② 景観の保全と活用を検討します。

- 美しい地域空間を創出するため、地域の景観資源の把握を進めるとともに、その保全・活用について検討します。
- 幹線道路沿道では、良好な沿道景観や眺望景観等を確保するため、屋外広告物に関する規制を検討します。

③ 自然空間との一体性を創出します。

- 愛宕山から館岸山にかけてのエリアでは、恵まれた自然景観を生かしながら、身近な自然空間として観光・レクリエーション機能の充実、散策環境等の整備を進めます。

④ 自然環境・景観の保全に努めます

- 地域西部の山地丘陵部では、自然環境や景観の保全を図るため、関係部署と連携しながら必要な施策を実施します。

南部地域の将来像

■ JR岩間駅周辺の交流機能強化
○商業・業務機能の充実、交通結節機能の強化等の検討〔岩間駅西市街地〕

■ JR岩間駅周辺の交流機能強化
○愛宕山への回遊基点としての機能充実の検討〔駅前通り、参道〕

■ 用途地域内への都市機能集積の促進
○都市的未利用地や低密度利用地における地区の将来像・整備内容の検討

■ 用途地域内の都市基盤の充実
○道路や公園、公共下水道等の整備
○幹線道路での歩行者・自転車空間の確保とバリアフリー化

■ 自然環境・景観の保全
○自然環境や景観の保全を図るため、関係部署と連携し必要な施策を実施〔地域西部の山地丘陵部〕

■ 自然空間との一体性の創出
○恵まれた自然景観を生かしながら、身近な自然空間として観光・レクリエーション機能の充実、散策環境等の整備

■ 道路ネットワークの構築
○石岡市(川)方面との連結を確保する市道の整備〔岩間八郷線〕

■ 道路ネットワークの構築
(都市計画道路の整備)
○国道355号バイパスとの連携強化に向けた整備推進〔岩間駅東大通り線〕
○駅東地区の骨格道路として整備推進〔日吉町古市線〕

■ 用途地域内への都市機能の集積
○土地区画整理事業の推進〔岩間駅東地区〕

■ 秩序ある土地利用の誘導
○土地利用・建築物の誘導方策導入の検討〔国道355号バイパス沿道〕

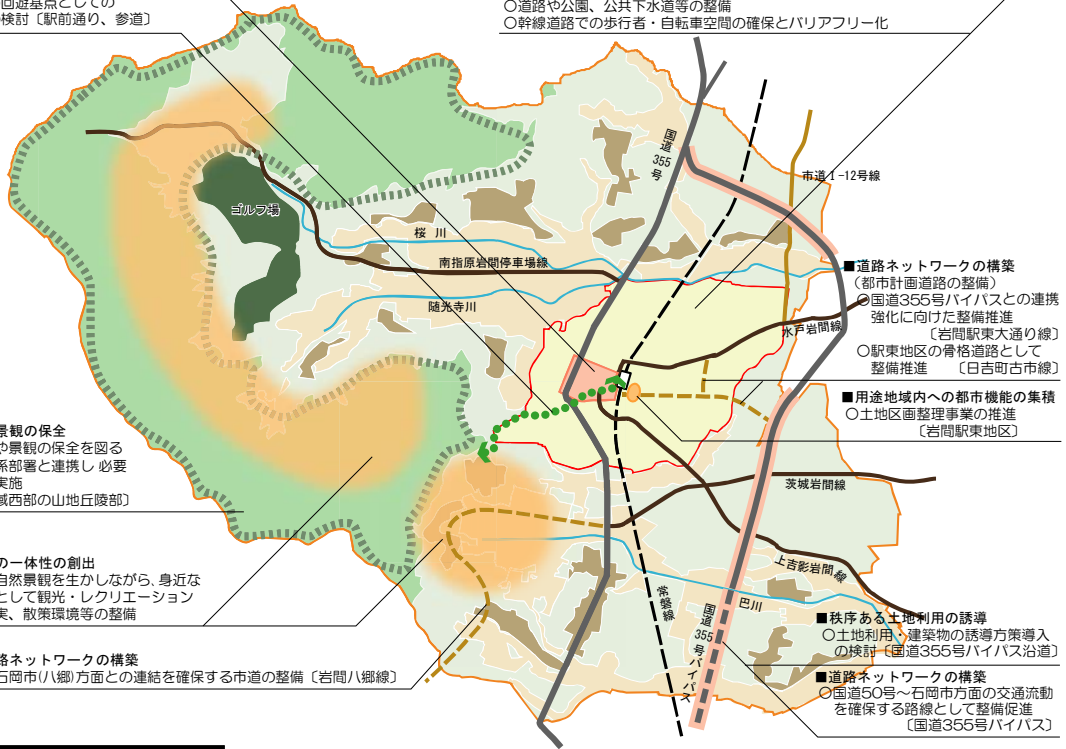
■ 道路ネットワークの構築
○国道50号～石岡市方面の交通流動を確保する路線として整備促進〔国道355号バイパス〕

■ 地域全域に関する事項
○未整備の都市計画道路に関する検討
○集落機能の維持
○幹線道路沿道での土地利用動向の注視
○景観資源の把握と保全・活用の検討
○幹線道路沿道での屋外広告物規制の検討

凡 例	
	国道
	県道・主要地方道
	その他(市道等)
	集落
	農用地



0 1000 2000 3000m



V-3-5 南東部地域

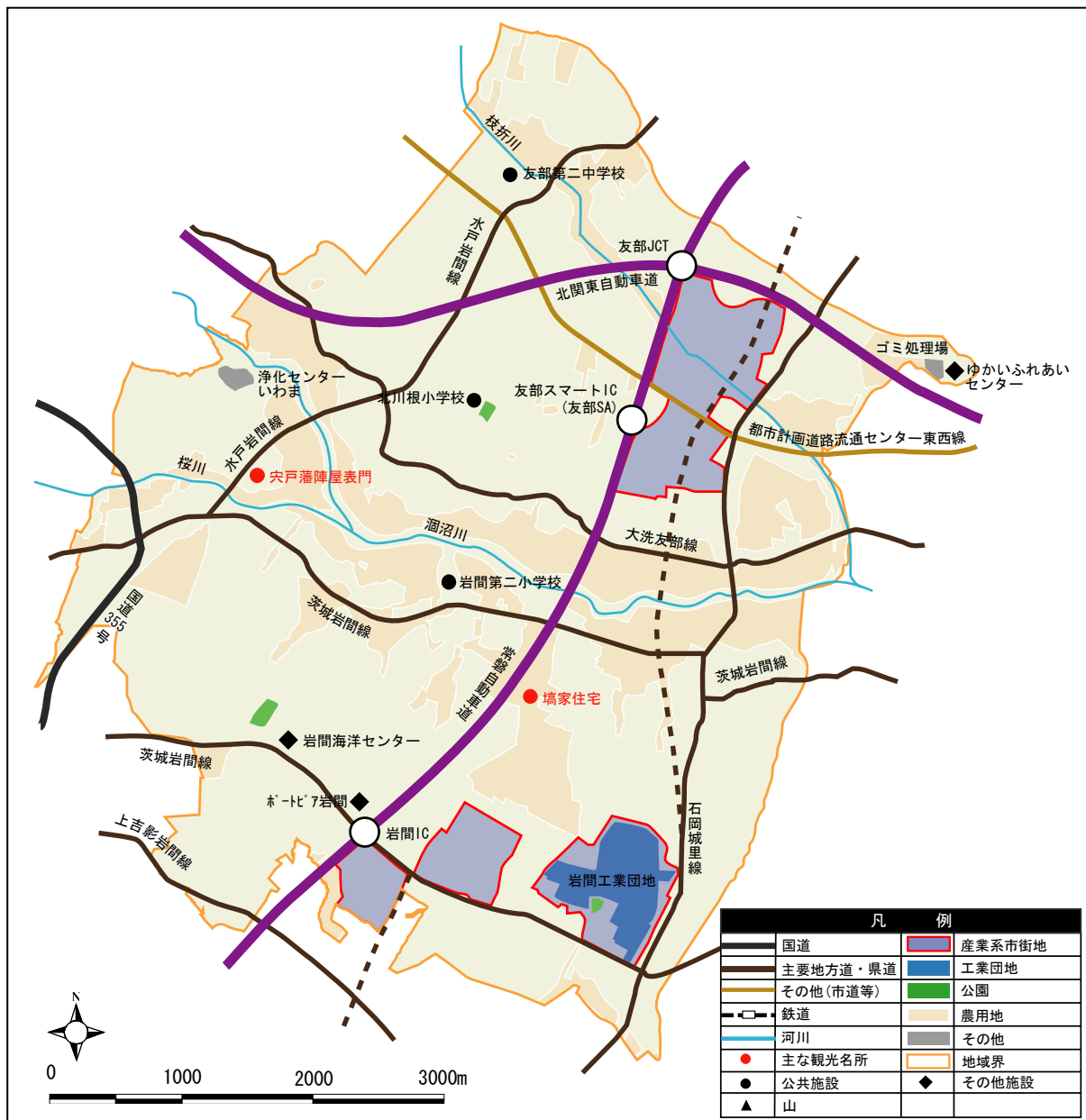
1. 概況

本地域は、市城南東部に位置しており、常磐自動車道と北関東自動車道が通過しています。地域内に常磐自動車道岩間IC、友部スマートICが設置されており、広域利便性に恵まれた地域となっています。

岩間工業団地、茨城中央工業団地(笠間地区)の他、2箇所の工業専用地域を有しており、産業集積が期待される地域となっています。



図一 地域現況図



2. 地域づくりの課題

- 恵まれた交通条件を生かした産業集積が望まれます。
- 産業系用途地域の利用促進が必要です。
- 白地地域における適切な土地利用の誘導が必要です。
- 集落居住環境の維持・保全が必要です。
- 集落部では、公共交通等の生活利便性の確保が必要です。

3. 本地域の役割

南東部地域は、高速道路の IC が位置し広域への利便性が高い地域です。また、産業系の用途地域が多く指定されていることから、本市における産業ゾーンとして期待されます。

表一 全体構想での主な位置づけ

岩間 IC 周辺 (岩間工業団地、安居・押辺地区)	高速道路の利便性等を生かし、岩間工業団地の環境保全、産業集積の促進。
茨城中央工業団地(笠間地区)	高速道路の利便性を生かした産業集積の促進

4. 地域の将来像

交通利便性を生かした多様性のある産業空間

将来の南東部地域は、恵まれた交通利便性を背景に、茨城中央工業団地(笠間地区)や岩間 IC 周辺の用途地域において、多様な産業が立地する笠間市の産業ゾーンの形成を目指します。

一方、涸沼川沿岸に広がる農地や集落については、居住や農業生産の場として良好な集落環境の保全に努めます。

この将来像を実現するため、次のような地域づくりの目標を定めます。

地域づくりの目標

- 多様な産業が集積する産業空間を創出します
- 誇りと愛着の持てる美しい地域空間を創出します

5. 地域づくりの方針

(1) 多様な産業が集積する産業空間の創出に向けて

①用途地域の利用促進を進めます。

- 茨城中央工業団地(笠間地区)、岩間 IC 周辺の安居・押辺地区については、利用促進に向けた企業誘致を進めるとともに、必要な基盤整備について検討します。
- 岩間 IC 周辺の安居・押辺地区については、国内産業構造の変容に対応した産業導入を進めるため、工業専用地域の用途地域変更を進めます。

②都市基盤整備を進めます。

- 用途地域内の土地利用促進を図るため、道路や公園、公共下水道等の整備を進めます。
- 都市計画道路下安居南北線及び流通センター北線・南線については、産業拠点の連携軸として整備を促進します。
- 一般県道上吉影岩間線については、茨城空港へのアクセスを強化する路線として整備を促進します。
- 都市計画道路流通センター東西線は、現在整備が進められている(主)石岡城里線以東区間の整備を促進します。また、(主)石岡城里線以西区間については、茨城中央工業団地(笠間地区)の具体化に合わせ整備を促進します。

③集落機能の維持に努めます。

- 集落部では、人口や高齢化等の状況を注視しながら、集落機能(地域コミュニティ、生活習慣、農業生産等)の維持のため、公共交通等の必要な施策を検討します。

(2) 誇りと愛着の持てる美しい地域空間の創出に向けて

①秩序ある土地利用の誘導に努めます。

- 市道 I - 9 号線沿道を中心とする区域では、茨城中央工業団地(笠間地区)の機能集積に対応して特定用途制限地域等の都市計画施策の導入を検討します。
- 旭町地区東端の(主)水戸岩間線沿道では、土地利用の混在を防ぐため、沿道の土地利用の動向に対応した都市計画施策を検討します。
- 集落部や周辺の優良な農地については、生活空間及び営農空間として位置づけ、農業施策との整合を図りながら保全を図ります。
- 国道 355 号バイパス沿道では、土地利用の混在を防ぐため、土地利用動向を注視しながら土地利用や建築物についての誘導方策の導入を検討します。

②景観の保全と活用を検討します。

- 美しい地域空間を創出するため、地域の景観資源の把握を進めるとともに、その保全・活用について検討します。
- 幹線道路沿道では、良好な沿道景観や眺望景観等を確保するため、屋外広

告物に関する規制を検討します。

③自然環境・景観の保全に努めます

○野口池周辺は、水源涵養林にも指定され豊かな自然環境を有することから、環境の保全を図るとともに自然体験の場としての活用を検討します。

④宅地化が想定される白地地域での土地利用・建物の誘導を検討します。

○宅地化動向が顕著な旭町地区においては、白地地域における健全な宅地化を誘導するため、用途地域や地区計画等の土地利用、建物用途の誘導を図る都市計画制度の活用を検討します。

